

『未来につなぐ平和への道』

6年生は、11月13日・14日に広島方面へ修学旅行に行ってきました。かがやきの時間に学んだことを確かめたり、深めたり、新しい疑問を持ったりと、とても充実した時間を過ごすことができました。これまで学んだことをしっかりとまとめ、12月15日に全校のみんなへの報告集会をしました。



1日目は、しっかりと平和学習を行いました。原爆の子の像の前で平和への誓いをし、全校のみんなに折ってもらったツルをささげました。平和な世界になりますように…と改めて強く願いました。被爆体験講話では、近藤先生から、戦争中のお話や原爆投下後の生活等のお話を聞きました。原爆で亡くなった人だけでなく、生きぬいてこられた人たちもつらい生活をしていたことを、初めて知りました。その後、被爆建物を見学したり、平和公園・資料館を活動班で学習したりしました。小学校にいるだけでは学べなかったことを、たくさん知ることができました。

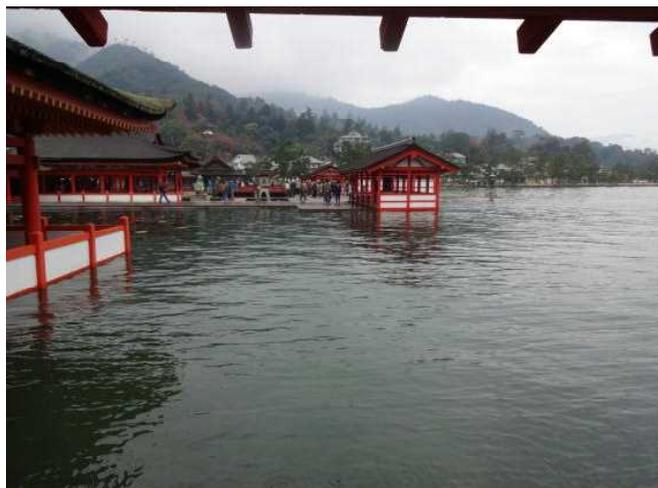




夜に学習会をひらき、ヒロシマで学んだことや感じたことをまとめました。夜遅くではありましたが、初めて知ったことをみんなと共有しながら集中して書く姿に、学習の深さを感じました。戦争や原爆が、いかに無意味で、平和がどれだけ大切なことか、ヒロシマへ実際に訪れたことで、改めて感じたことがよくわかりました。

2日目は、少し雨模様でお天気が心配される中の活動でしたが、子どもたちはそれぞれにめいっぱい楽しむことができたようです！

まずは、フェリーで宮島へ！船旅は短い時間でしたがとっても楽しそうでした！厳島神社は高潮で、海水面が足元の床すれすれの所までできていました。とても神秘的でした。水族館を満喫した後は、お楽しみのおみやげタイム！限られたおこづかいでしたが、友だちとの買い物を楽しんでいました。



12月15日は、全校のみんなに、調べたことをまとめ新聞にしてを発表しました。戦後71年経ち、語り継ぐ人も減っています。お話を聞いたり、学んだりしたわたしたちが今度はそれを『伝えていく』、これもとても大切なことだと子どもたちは気付いてくれたようです。全校のみんなに、どうしたらうまく分かってもらえるのか考えながら、しっかりまとめました。また、自分たちが感じたことを劇や歌という形でも伝えることができました。少しでも多くのことが、1人でも多くの人に、伝わっているといいですね。